

【第2回 佐賀県災害警戒本部会議】 7月10日

危機管理防災課長／12時現在の被害状況から。

唐津市浜玉町平原の土砂崩れ現場では、3名の救助のため、消防関係が49名、警察35名、合計84名の体制で救助活動中。先ほど、1名を発見との報告があったが、詳細はまだ不明。

その現場のさらに西側で道路が崩壊し、3世帯7名が孤立中。警察、消防共同で救助活動にあっている。

救助が終わったのは2か所。土石流、崖崩れ、山林の土砂災害、川の氾濫等が発生。停電は、佐賀、唐津、神埼、吉野ヶ里、合わせて110戸ほど発生。

現在、避難指示は13市町、高齢者等避難は7市町。避難所は、18市町で134か所に開設。避難者は、214世帯318名。

休校、休園、警報の発表状況、交通状況は資料のとおり。

災害救助法を佐賀市、唐津市、伊万里市に適用する。また、唐津市にリエゾンを4名派遣した。

県土整備部長／5河川が氾濫し越水したが、水位が下がり越水は終わった。

- ・現在、氾濫危険水位に達しているのは、佐賀江川と寒水川の2河川。
- ・河川の護岸の崩壊は5か所。
- ・道路状況は、15路線、21か所で通行止め。崩土で13か所、冠水で8か所。
- ・土砂災害は、崖崩れや道路ののり面の崩壊など13か所が、片側通行も含め通行止め。

筑後川の水位の状況次第では、筑後川水系のポンプの運転停止との情報がある。もし、ポンプを停止する場合、筑後川の右岸地区での内水被害が懸念される。

県が所持する排水ポンプは、佐賀土木で佐賀市八田江の排水。唐津土木では、唐津市中原地区で松浦川へ排水活動中。

農林水産部長／農地・土地改良施設では、基山町のため池でのり面が一部崩落。公共施設や人家への影響はない。

健康福祉部／鳥栖市の保育所で1施設が停電し、その後復旧した。園児は登園していたが、帰宅が終了し、保育所内に園児はいない。

地域交流部長／高速の状況は資料のとおり。

警察本部／浜玉町平原に、職員2人を派遣し、倒壊した家屋や土砂の撤去活動をしている。通行止めや浸水、土砂崩れ等による交通規制を行っている。

平原の孤立世帯の状況は、現在、被災者を抱えて救助中。

佐賀広域消防局／浜玉町の現場に、4消防本部から応援。9隊35名で検索に当たっている。13時9分に人らしきものを発見との情報があり、現在確認中。

自衛隊／久留米駐屯地で、人員41名と油圧1を準備中。しかし、災害派遣の3要件を満たせていないため、出動を見合わせている。引き続き検討中のため、状況がわかり次第、関係者に連絡する。

10時半ごろ、状況を把握するため、久留米駐屯地から唐津に連絡員を派遣。自衛隊側で情報収集等をしているので、こちらでも情報共有する。

九州地方整備局／唐津市浜玉の人命救助作業を継続実施する上で、県から現場安全確認の要請を受けている。できるだけ早く現場に向かえるよう調整中。また、資材、機材等の要請があれば対応する。

佐賀地方気象台／未明から明け方に、非常に激しい雨が降った。13時20分、嬉野市に警戒レベル4相当の土砂災害警戒情報が追加された。これで、16市町がレベル4、全市町がレベル3以上になった。

日本海山陰沖から対馬海峡を通過して大陸に前線が伸び、その南側の下層に湿った空気が集まり、発達した雨雲が流れ込んでいる。明日にかけても前線の位置は、ほぼ変わらない。九州北部に、引き続き湿った空気の流れ込みが続き、明日にかけても激しい雨が降る予想。線状化するかもしれないので、引き続き警戒を。

防災監／激しい雨がどっと降る確率は低いが、前線が停滞しているため、まだ大雨のリスクがあるとのこと。避難指示に従って避難してほしい。自主避難でも構わない。

現場では、救出作業が続いている。命を最優先に早急に対応しなければならないが、現場の皆さんは、二次被害に遭わないよう注意して対応してほしい。